

2025年3月期第2四半期 決算説明会

2024年11月7日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
福田 智光

決算サマリー

2025年3月期第2四半期 連結業績概要

- 売上高は前四半期比7%増の867億円。すべての用途分野向けで増収。
- 営業利益は49億円、前四半期比88%増益。
- 売上高、営業利益ともに8月時点の想定を下回った。中国系スマートフォンや自動車、情報インフラ・産業機器向けなどの需要が低調。

2025年3月期 連結業績予想

- 5月に発表した業績予想を下方修正。
- 売上高は3,300億円(前期比2%増)、営業利益は76億円(同16%減)を計画。

2025年3月期第2四半期 連結業績概要

売上高は前四半期から7%増加し、867億円となりました。
スマートウォッチなどの民生機器、スマートフォンに代表される通信機器など、すべての用途分野向けで売上が増加しました。

営業利益は49億円で、前四半期から88%増加しました。

第1四半期決算を発表した8月時点の見込みと比較すると、
売上高、営業利益ともに予想を下回りました。
主な要因は中国系スマートフォン、自動車、情報インフラ・産業機器で、
これらの市場向けの需要が当社の想定を下回り、低調に推移しました。

2025年3月期 連結業績予想

第2四半期までの実績と今後の需要予測などに基づき、
5月に発表した通期の業績予想を下方修正しました。
売上高は前期比2%増の3,300億円を、
営業利益は同16%減の76億円を計画しています。

2025年3月期第2四半期
連結業績概要

第2四半期 連結業績概要(前四半期比)

百万円	2025年3月期 第1四半期		2025年3月期 第2四半期		増減	
売上高	81,138	100.0%	86,718	100.0%	5,579	6.9%
営業利益	2,630	3.2%	4,945	5.7%	2,314	88.0%
経常利益	8,377	10.3%	△1,617	△1.9%	△9,994	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,309	7.8%	△2,741	△3.2%	△9,050	－
対米ドル期中平均レート	153.15円		154.14円		0.99円円安	
為替変動による影響額	売上高 +4億円、営業利益 +9億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,641		3,687		45	1.3%
設備投資額	14,980		15,100		119	0.8%
減価償却費	10,548		11,377		828	7.9%

©TAIYO YUDEN Co., Ltd.

TAIYO YUDEN

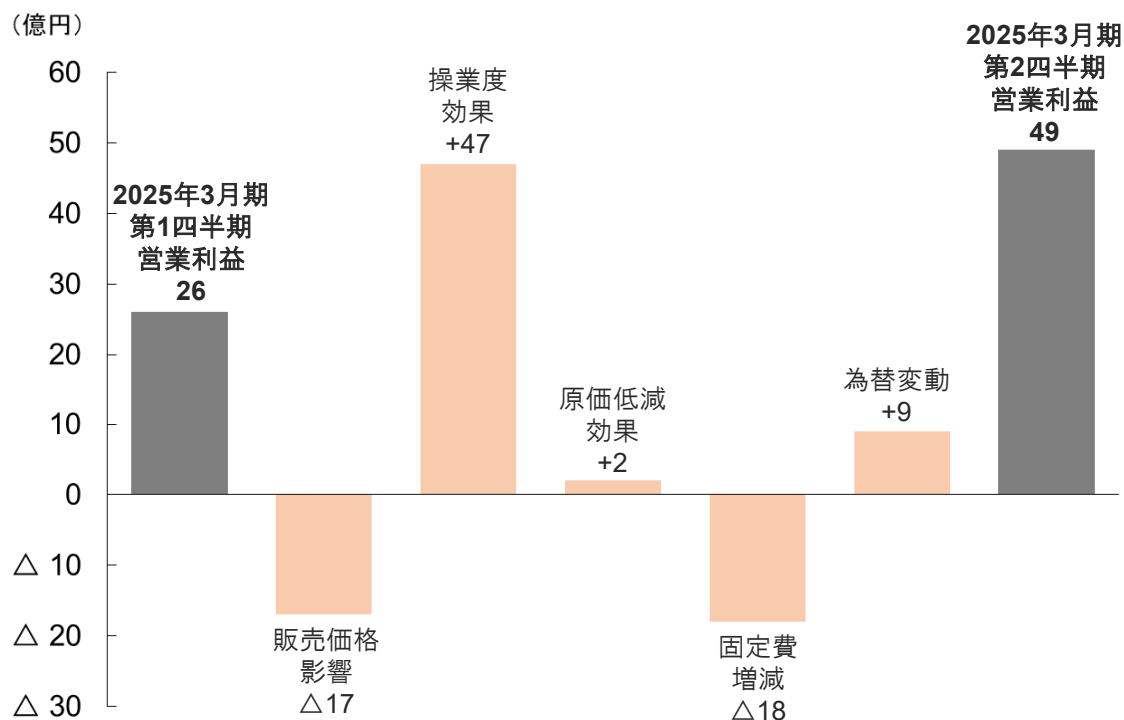
4

2025年3月期第2四半期の業績は、
売上高867億円、営業利益49億円となりました。
四半期末の為替レートが、第1四半期末の1米ドル161円台に対して
第2四半期末は142円台と大幅な円高となったため、
71億円の為替差損を計上し、経常利益は16億円の赤字となりました。
また、特別損失として、アルミニウム電解コンデンサにおいて
独占禁止法関連損失17億円などが発生した結果、
親会社株主に帰属する四半期純利益は27億円の赤字となりました。

期中平均の為替レートは1米ドル154円台で、
前四半期に対して約1円円安でした。
これにより、売上高に対してプラス4億円、
営業利益に対してプラス9億円の影響がありました。

研究開発費は37億円、設備投資額は151億円で、
前四半期とほぼ同水準でした。
減価償却費は前四半期から8億円増加し、114億円でした。

第2四半期 営業利益増減要因(前四半期比)



営業利益が前四半期に対して増益となった主な要因は、操業度効果です。

操業度効果には、販売数量増減や棚卸資産の増減のほか、ミックス改善の影響などが含まれています。

販売数量の増加や棚卸資産を積み増したことから、47億円の増益要因となりました。

なお、9月末の全社の棚卸資産は、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベースで6月末より55億円増加しました。

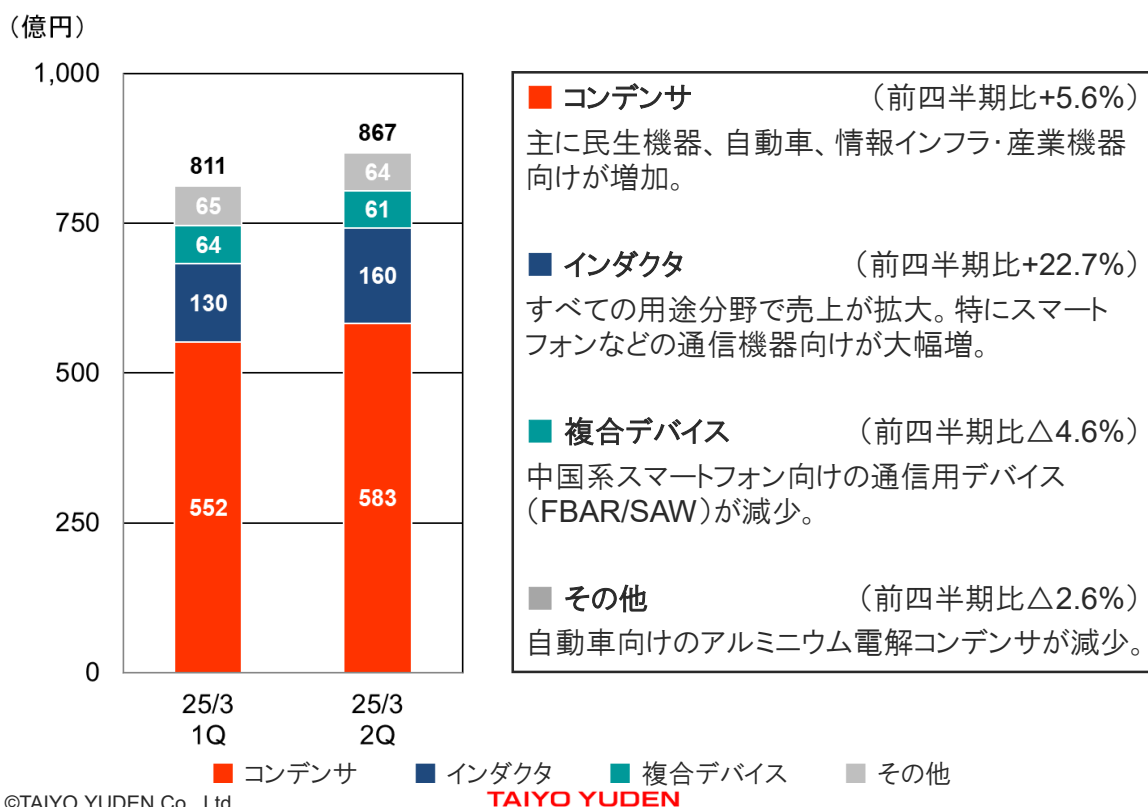
この他、円安による為替影響9億円、原価低減効果2億円も増益要因となりました。

販売価格影響17億円や固定費の増加18億円といった減益要因もありましたが、営業利益は前四半期から23億円増加し、49億円となりました。

第2四半期 製品別売上高(前四半期比)

百万円	2025年3月期 第1四半期		2025年3月期 第2四半期		増減	
コンデンサ	55,192	68.0%	58,278	67.2%	3,085	5.6%
インダクタ	13,011	16.0%	15,963	18.4%	2,952	22.7%
複合デバイス	6,388	7.9%	6,097	7.0%	△290	△4.6%
その他	6,546	8.1%	6,379	7.4%	△167	△2.6%
合計	81,138	100.0%	86,718	100.0%	5,579	6.9%

第2四半期 製品別売上高(前四半期比)



7

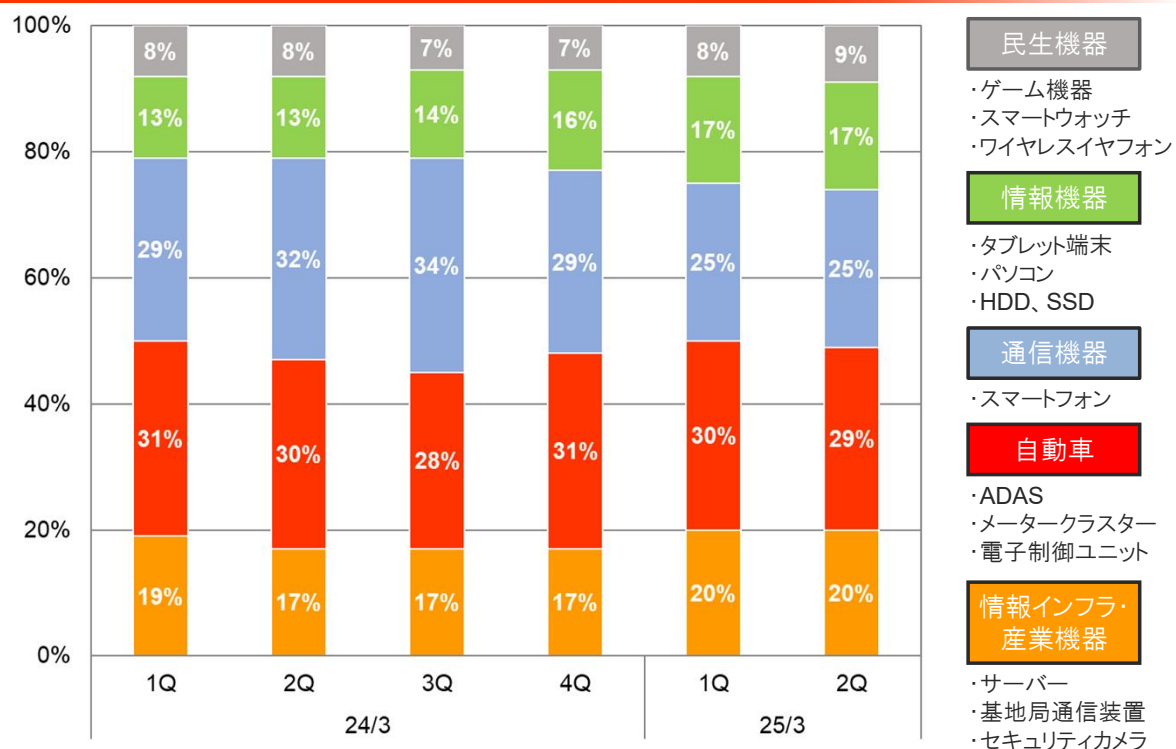
コンデンサの売上高は、前四半期比6%増の583億円でした。
用途分野別では、民生機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けなどが増加しました。
なお、第2四半期のコンデンサの稼働率は、80-85%でした。

インダクタの売上高は、同23%増の160億円でした。
季節的な需要期であるスマートフォンなどの通信機器を中心に、すべての用途分野向けで売上が増加しました。

一方、複合デバイスの売上高は同5%減少し、61億円でした。
中国系スマートフォン向けの通信用デバイス(FBAR/SAW)が減少しました。
なお、複合デバイスの売上に占める通信用デバイスの割合は約75%でした。

その他の売上高は、子会社であるエルナーの自動車向けアルミニウム電解コンデンサが減少した影響で、同3%減の64億円となりました。

用途分野別売上構成



©TAIYO YUDEN Co., Ltd.

TAIYO YUDEN

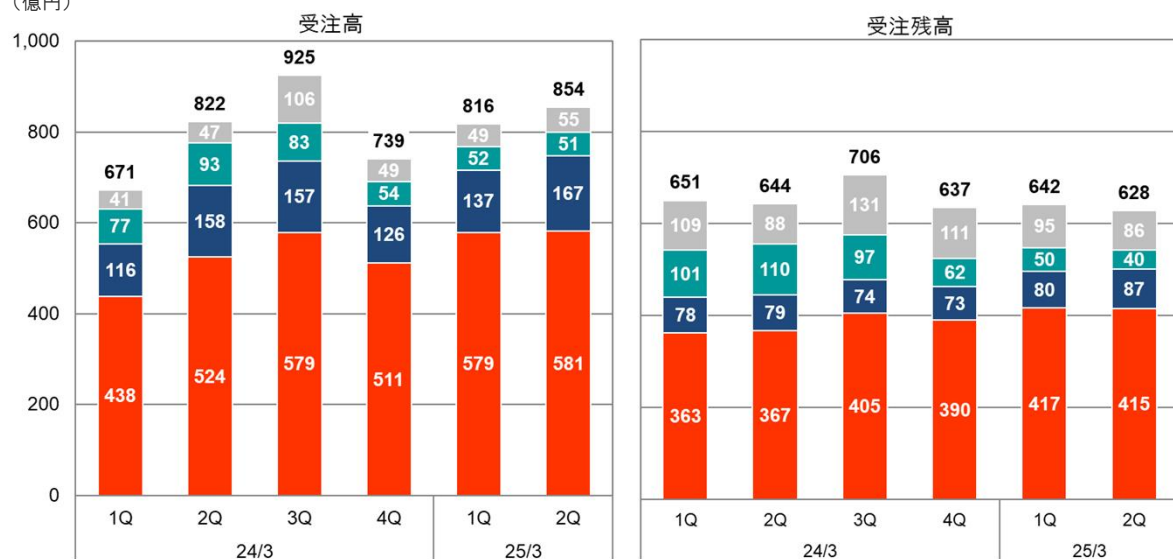
※当社推計値

8

用途分野別の売上構成は、前四半期から大きな変化はありませんでした。
 情報インフラ・産業機器向けが20%、自動車向けが29%で、
 合わせて約50%で推移しています。
 通信機器向けは25%、情報機器向けは17%、民生機器向けは9%でした。

受注高・受注残高

(億円)



BBレシオ

	24/3				25/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	0.92	0.99	1.07	0.91	1.01	0.98
コンデンサ	0.93	1.01	1.07	0.97	1.05	1.00

■ コンデンサ ■ インダクタ
■ 複合デバイス ■ その他

※BBレシオ＝受注高／売上高

第2四半期の全社の受注高は854億円で、前四半期から5%増加しました。
 また、コンデンサは前四半期から微増の581億円でした。
 売上高に対する割合を示すBBレシオは、
 全社が0.98、コンデンサが1.00となりました。

受注残高は、全社、コンデンサともに前四半期末よりやや減少しました。

2025年3月期
連結業績予想

2025年3月期 連結業績予想(前回予想比)

百万円	2025年3月期 前回予想		2025年3月期 今回予想		増減	
売上高	350,000	100.0%	330,000	100.0%	△20,000	△5.7%
営業利益	20,000	5.7%	7,600	2.3%	△12,400	△62.0%
経常利益	16,500	4.7%	6,000	1.8%	△10,500	△63.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,000	3.1%	0	0.0%	△11,000	△100.0%
対米ドル期中平均レート	145.00円		149.32円		4.32円円安	
研究開発費	15,000		15,000		0	0.0%
設備投資額	70,000		70,000		0	0.0%
減価償却費	45,000		45,000		0	0.0%

第2四半期までの実績と今後の見通しに基づき、
2025年3月期の通期業績予想を5月に発表したものから下方修正しました。

各市場の需要動向につきましては、情報インフラ・産業機器向けはAIサーバーの需要拡大が続く一方で、一般サーバーや産業機器などの需要回復の動きは鈍く、力強さに欠ける状況が継続しています。
自動車向けにおいては、需要の拡大は続いているものの、EVの不振などによってそのペースにはやや減速感が見られます。
また、通信機器向けでは、中国系スマートフォンのハイエンド機種需要低迷が長引いています。

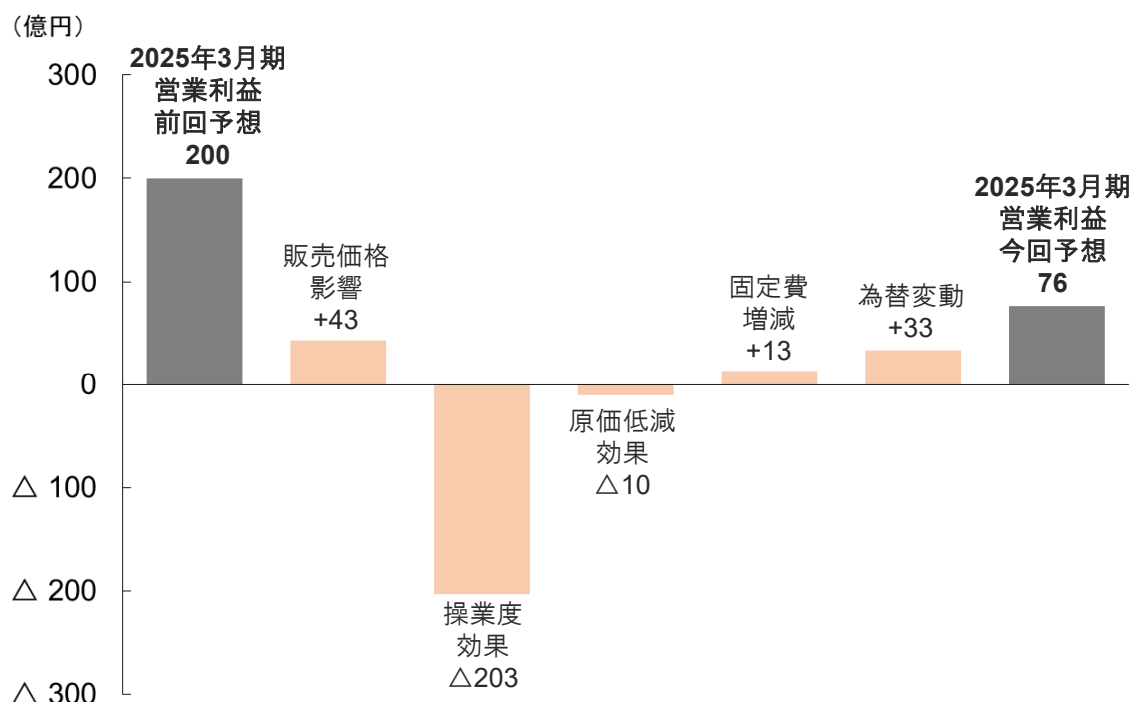
今回変更した業績予想は、売上高が3,300億円、営業利益は76億円、経常利益は60億円、親会社株主に帰属する当期純利益はゼロです。
為替レートは、第3四半期以降が145円、通期では149円台となる前提です。
なお、研究開発費、設備投資額、減価償却費は従来の予想から変更しておりません。

2025年3月期 連結業績予想(前期比)

百万円	2024年3月期		2025年3月期 予想		増減	
売上高	322,647	100.0%	330,000	100.0%	7,353	2.3%
営業利益	9,079	2.8%	7,600	2.3%	△1,479	△16.3%
経常利益	13,757	4.3%	6,000	1.8%	△7,757	△56.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,317	2.6%	0	0.0%	△8,317	△100.0%
対米ドル期中平均レート	143.32円		149.32円		6.00円円安	
研究開発費	13,696		15,000		1,304	9.5%
設備投資額	92,201		70,000		△22,201	△24.1%
減価償却費	39,391		45,000		5,609	14.2%

前期比では、売上高は2%の増収となりますが、営業利益は16%の減益、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益も大きく減少する見込みです。

2025年3月期 営業利益予想増減要因(前回予想比)



営業利益を前回予想から124億円下方修正しましたが、操業度効果が203億円減少したことが営業利益を大きく引き下げる要因となりました。

主に情報インフラ・産業機器、自動車、通信機器向けの販売数量が、当社の期初想定を下回る見込みです。

なお、棚卸資産は、足元の需要動向に応じて製品ごとに変化はありますが、全社合計では期初計画と同様に、為替や利益に影響がない部分を除いた実態ベースで前期末から約100億円増加する予定です。

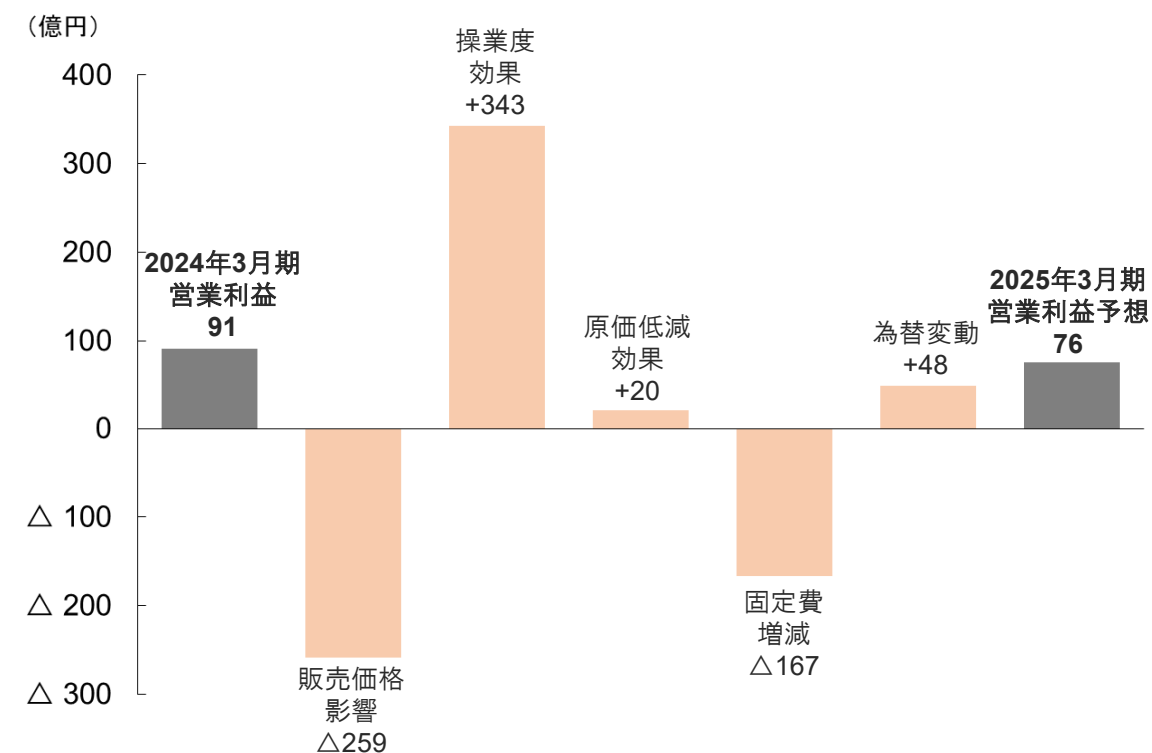
また、今期の9月末から3月末は、同程度の水準を計画しています。

原価低減効果は、部材費の上昇により、前回予想から10億円減少する見込みです。

一方、前回予想からの増益要因は次の3点です。

値下がりペースの見通しについては前回予想から変化ありませんが、販売数量の減少に伴い、販売価格影響で43億円の増益効果を見込んでいます。固定費については、費用抑制によって期初計画から13億円削減する見通しです。また、為替前提を期初想定よりも円安としたことに伴い、33億円の増益要因となる想定です。

2025年3月期 営業利益予想増減要因(前期比)



©TAIYO YUDEN Co., Ltd.

TAIYO YUDEN

14

前期比では、増益要因として操業度効果343億円や原価低減効果20億円、為替変動48億円を見込んでいます。しかし、販売価格影響259億円、固定費増加167億円という減益要因をカバーするには至らず、営業利益は15億円の減益を予想しています。

なお、同一アイテム比の値下がり率は、前期とほぼ同じペースが続く前提です。

2025年3月期 製品別売上高予想(前回予想比)

百万円	2025年3月期 前回予想		2025年3月期 今回予想		増減	
コンデンサ	238,000	68.0%	225,500	68.3%	△12,500	△5.3%
インダクタ	56,000	16.0%	56,500	17.1%	500	0.9%
複合デバイス	29,000	8.3%	23,000	7.0%	△6,000	△20.7%
その他	27,000	7.7%	25,000	7.6%	△2,000	△7.4%
合計	350,000	100.0%	330,000	100.0%	△20,000	△5.7%

製品別の売上高予想は、
インダクタについては5月時点の予想から1%増額しましたが、
コンデンサは5%、複合デバイスは21%、その他は7%引き下げました。

2025年3月期 製品別売上高予想(前期比)

百万円	2024年3月期		2025年3月期 予想		増減	
コンデンサ	205,829	63.8%	225,500	68.3%	19,671	9.6%
インダクタ	55,566	17.2%	56,500	17.1%	934	1.7%
複合デバイス	34,934	10.8%	23,000	7.0%	△11,934	△34.2%
その他	26,317	8.2%	25,000	7.6%	△1,317	△5.0%
合計	322,647	100.0%	330,000	100.0%	7,353	2.3%

前期比では、コンデンサは10%、インダクタは2%の増収となる見込みです。

一方、複合デバイスは、前期好調だった中国系スマートフォンの需要減速や回路モジュールの選択と集中に伴う事業縮小の影響などにより、34%の減収を想定しています。
 その他は5%の減収となる予想です。

第3四半期 製品別売上高予想

百万円	2025年3月期 第2四半期	2025年3月期 第3四半期予想 (前四半期比増減)
コンデンサ	58,278	△4%~±0%
インダクタ	15,963	△6%~△2%
複合デバイス	6,097	△16%~△12%
その他	6,379	△6%~△2%
合計	86,718	△6%~△1%

対米ドル期中平均レート	154.14円	(前提) 145.00円
-------------	---------	--------------

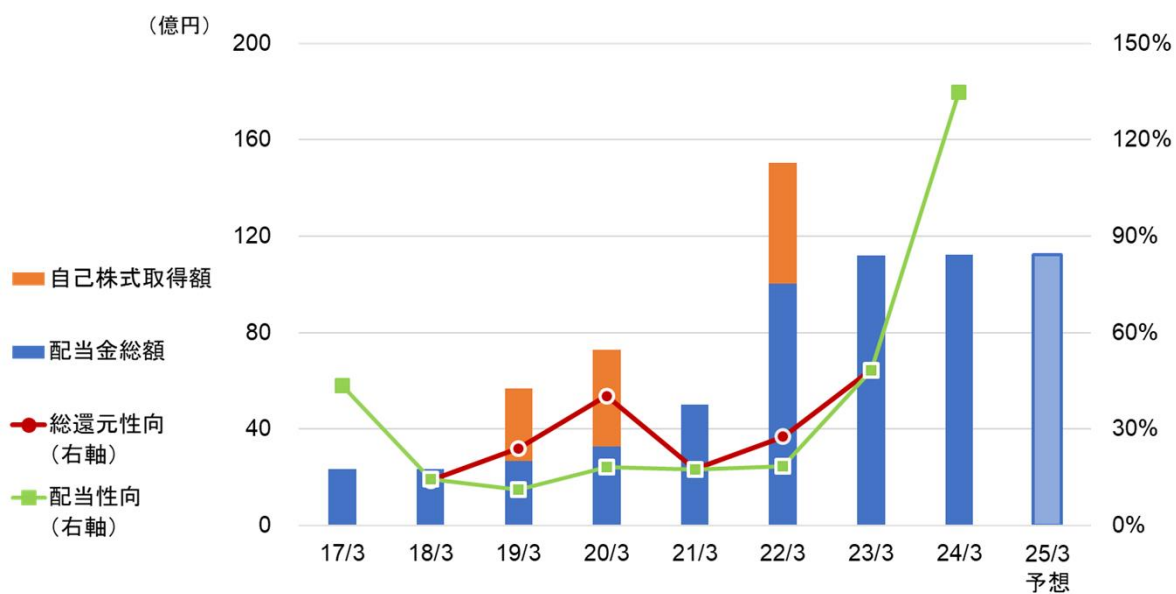
第3四半期の製品別売上高予想はこの表の通りで、コンデンサは前四半期比で4%減収から同水準を見込んでいます。用途分野別では、自動車と情報インフラ・産業機器向けが増加するものの、民生機器、情報機器、通信機器向けが減少すると想定しています。

インダクタは、通信機器向けが引き続き増加すると予想しておりますが、それ以外の用途分野向けが減少するため、売上高はマイナス6-2%となる見込みです。

複合デバイスはマイナス16-12%、その他はマイナス6-2%で、全社合計では6-1%の減収となる想定です。

引き続き、各機器の需要動向や金融資本市場の変動を注視して変化に対応していくとともに、中期的な需要拡大を見据えた準備を進めてまいります。

株主還元



1株当たり年間配当金(円)	20	20	21	26	40	80	90	90	90
1株当たり当期純利益(円)	46.08	138.80	189.93	143.04	227.99	433.46	186.32	66.75	—

安定的な配当性向30%の実現を目指す

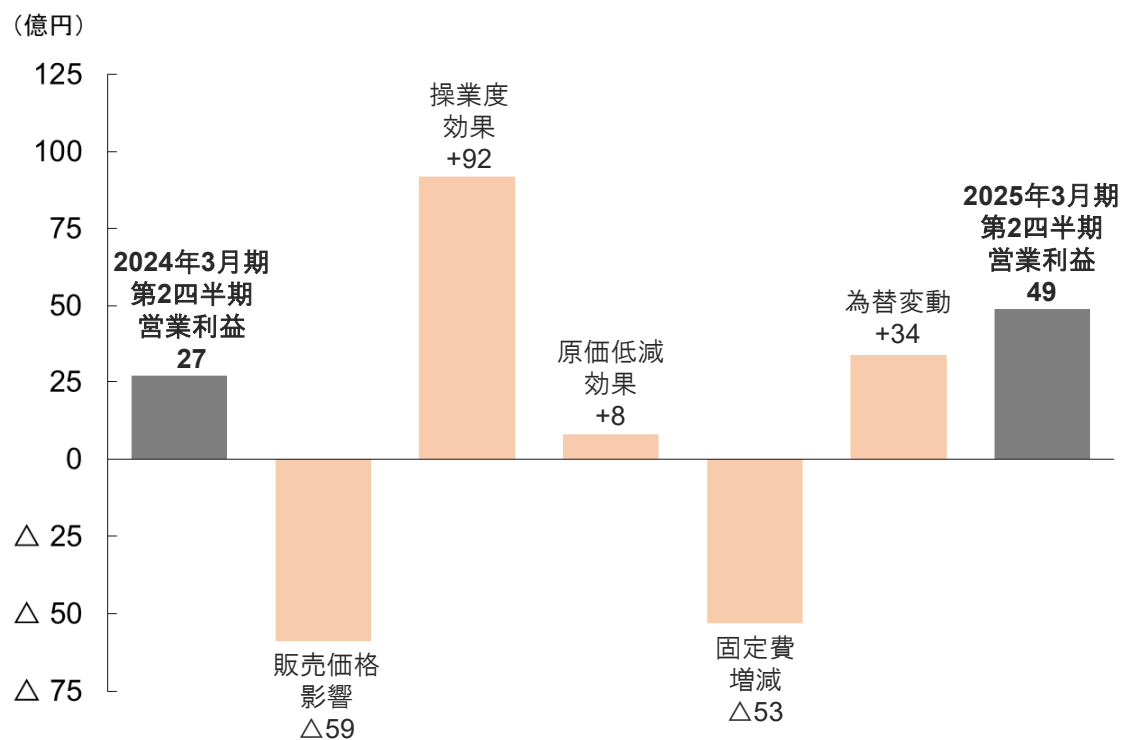
配当は期初計画から変更なく、前期と同様、中間配当45円、期末配当45円の年間配当90円を予定しています。

補足資料

第2四半期 連結業績概要(前年同期比)

百万円	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		増減	
売上高	82,814	100.0%	86,718	100.0%	3,903	4.7%
営業利益	2,721	3.3%	4,945	5.7%	2,224	81.7%
経常利益	5,127	6.2%	△1,617	△1.9%	△6,745	－
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,497	3.0%	△2,741	△3.2%	△5,238	－
対米ドル期中平均レート	142.47円		154.14円		11.67円円安	
為替変動による影響額	売上高 +50億円、営業利益 +34億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,353		3,687		333	9.9%
設備投資額	9,491		15,100		5,608	59.1%
減価償却費	9,420		11,377		1,957	20.8%

第2四半期 営業利益増減要因(前年同期比)



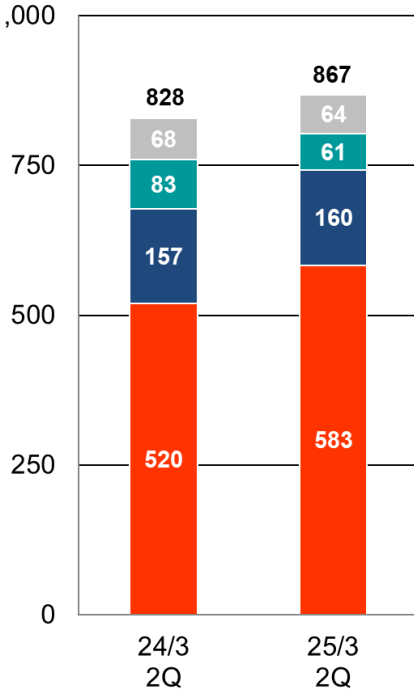
第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

百万円	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		増減	
コンデンサ	51,950	62.7%	58,278	67.2%	6,327	12.2%
インダクタ	15,748	19.0%	15,963	18.4%	214	1.4%
複合デバイス	8,326	10.1%	6,097	7.0%	△2,229	△26.8%
その他	6,789	8.2%	6,379	7.4%	△409	△6.0%
合計	82,814	100.0%	86,718	100.0%	3,903	4.7%

第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

(億円)

1,000



■ **コンデンサ** (前年同期比+12.2%)

主に情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けが増加。

■ **インダクタ** (前年同期比+1.4%)

ワイヤレスイヤホンなどの民生機器やメモリモジュールなどの情報機器向けが増加。通信機器向けは減少。

■ **複合デバイス** (前年同期比△26.8%)

通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールが減少。

■ **その他** (前年同期比△6.0%)

自動車、情報インフラ・産業機器向けのアルミニウム電解コンデンサが減少。

■ コンデンサ

■ インダクタ

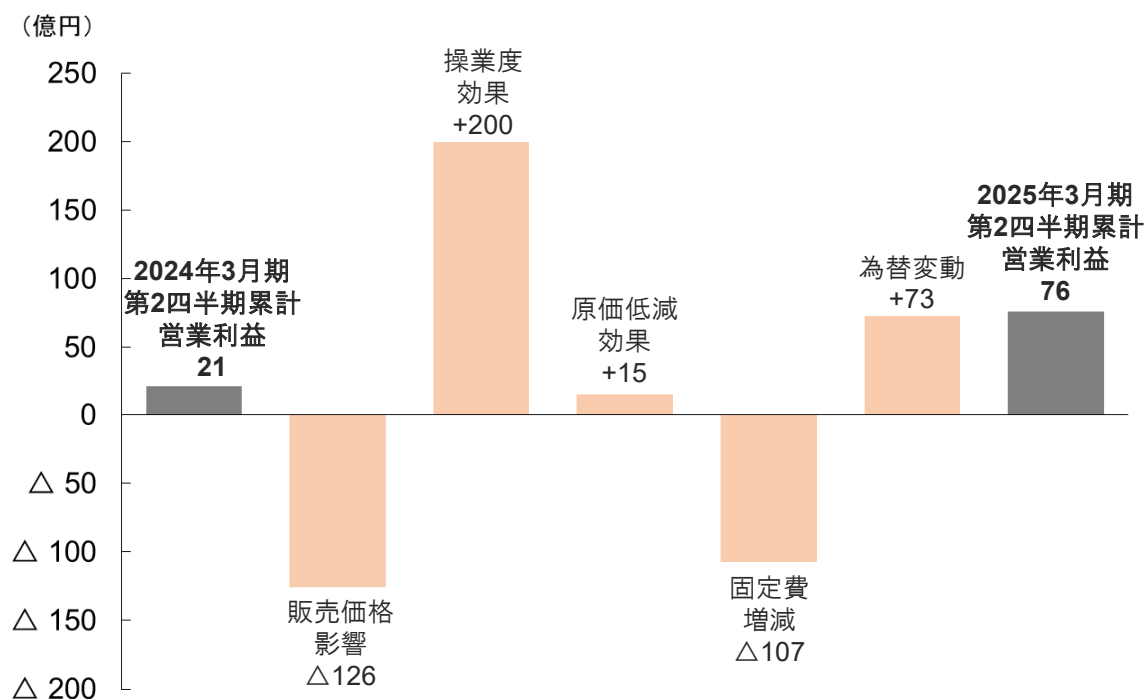
■ 複合デバイス

■ その他

第2四半期累計 連結業績概要(前年同期比)

百万円	2024年3月期 第2四半期累計		2025年3月期 第2四半期累計		増減	
売上高	155,427	100.0%	167,856	100.0%	12,429	8.0%
営業利益	2,143	1.4%	7,576	4.5%	5,433	253.5%
経常利益	6,287	4.0%	6,759	4.0%	472	7.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,400	2.2%	3,567	2.1%	167	4.9%
対米ドル期中平均レート	138.70円		153.65円		14.95円円安	
為替変動による影響額	売上高 +120億円、営業利益 +73億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	6,523		7,328		805	12.3%
設備投資額	35,459		30,081		△5,378	△15.2%
減価償却費	18,270		21,926		3,655	20.0%

第2四半期累計 営業利益増減要因(前年同期比)

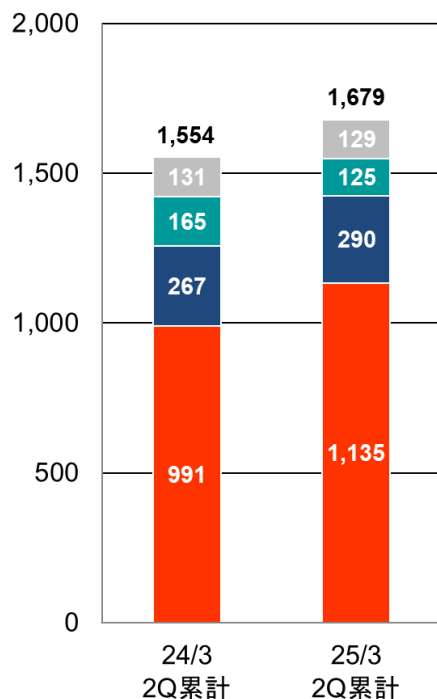


第2四半期累計 製品別売上高(前年同期比)

百万円	2024年3月期 第2四半期累計		2025年3月期 第2四半期累計		増減	
コンデンサ	99,084	63.7%	113,470	67.6%	14,386	14.5%
インダクタ	26,724	17.2%	28,974	17.3%	2,250	8.4%
複合デバイス	16,509	10.6%	12,485	7.4%	△4,023	△24.4%
その他	13,109	8.4%	12,925	7.7%	△183	△1.4%
合計	155,427	100.0%	167,856	100.0%	12,429	8.0%

第2四半期累計 製品別売上高(前年同期比)

(億円)



■ **コンデンサ** (前年同期比+14.5%)

主に情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けが増加。

■ **インダクタ** (前年同期比+8.4%)

主に民生機器、情報機器向けが増加。

■ **複合デバイス** (前年同期比△24.4%)

通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールが減少。

■ **その他** (前年同期比△1.4%)

情報インフラ・産業機器向けのアルミニウム電解コンデンサが減少。

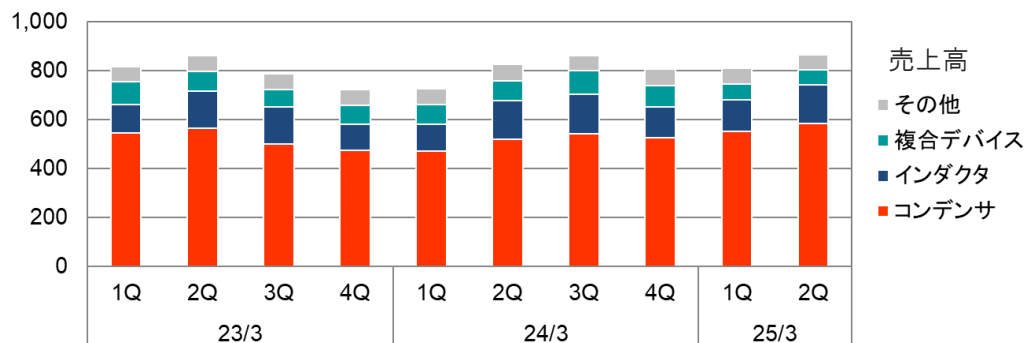
■ コンデンサ ■ インダクタ ■ 複合デバイス ■ その他

連結業績推移(四半期)

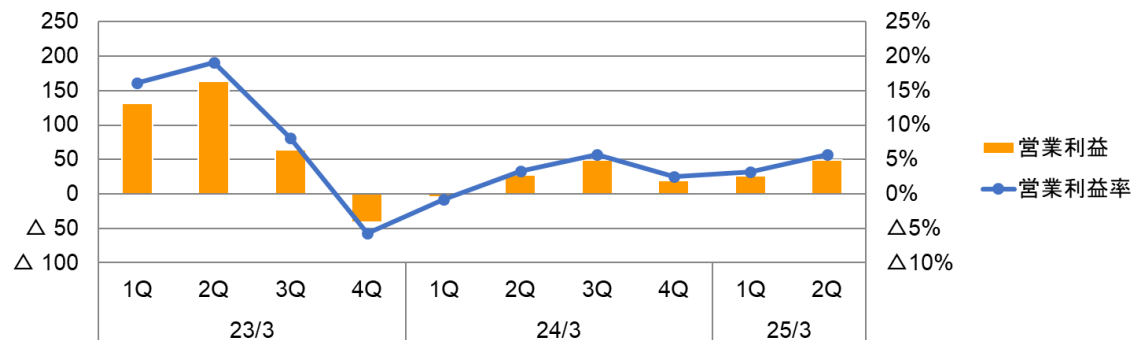
百万円	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	81,740	86,272	79,032	72,458	72,612	82,814	86,386	80,834	81,138	86,718
コンデンサ	54,583	56,438	49,867	47,225	47,133	51,950	54,190	52,554	55,192	58,278
インダクタ	11,748	15,156	15,212	10,748	10,976	15,748	16,196	12,645	13,011	15,963
複合デバイス	9,159	8,276	7,358	7,786	8,182	8,326	9,641	8,784	6,388	6,097
その他	6,248	6,400	6,594	6,697	6,320	6,789	6,358	6,849	6,546	6,379
営業利益	13,142	16,475	6,462	△4,100	△577	2,721	4,900	2,036	2,630	4,945
経常利益	17,204	18,355	2,572	△3,299	1,159	5,127	1,169	6,301	8,377	△1,617
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	12,236	12,643	1,972	△3,636	903	2,497	276	4,641	6,309	△2,741
対米ドル 期中平均レート	124.45円	135.33円	144.27円	132.75円	134.93円	142.47円	149.10円	146.76円	153.15円	154.14円

連結業績推移(四半期)

(億円)



(億円)



当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN